

第15回特別企画展

大阪樟蔭女子大学 田辺聖子文学館



田辺聖子の鹽と方

2023/10/28 Sat. ~ 2023/11/25 Sat.



HPトップページ

1958年11月 御堂筋にて

田辺聖子の闘い方

2023/10/28Sat. ~ 2023/11/25Sat.

恋愛小説やユーモアあふれる作品、軽妙なエッセイを世に送り出した作家として、『源氏物語』をはじめとする日本の古典の伝承者として、また、宝塚歌劇団やスヌーピーの愛好家として有名であった田辺聖子。彼女に、好戦的なイメージは、およそないでしょう。しかし、女性作家が「女流作家」と呼ばれていた時代を生き抜いた彼女は、間違いなく、自らの作品を通じて、自らの言論によって、斯界の第一線で闘い続けた一人でした。かつて「普通」や「常識」と言われていたことに対して、疑問を呈し、挑み続けた田辺聖子。本展では、田辺聖子の「闘い方」に着目し、その軌跡をたどります。

展示構成

新しい小説世界を切り拓く

「猫も杓子も」連載初出誌（『週刊文春』1968.12~1969.7）ほか

「婦人参政権亡国論」への批判

「スカタンだらけの男がなにをヌカす」（『サンデー毎日』1971.3.21）ほか

義憤

『花衣ぬぐやまつわる…… わが愛の杉田久女』直筆原稿ほかから生まれる評伝作品

エッセイでの問題提起

エッセイ「カモカのおっちゃんシリーズ」直筆原稿ほか

イベント

学芸員によるギャラリートーク

日時 ①11月 7日(火) 13:30~14:30
②11月18日(土) 10:30~11:30

会場 大阪樟蔭女子大学田辺聖子文学館

会費 無料

定員 各回15名(申込先着順)

ご参加については、お申し込みが必要です。

標題に「ギャラリートーク①11月7日」または「ギャラリートーク②11月18日」と記入のうえ、氏名・連絡先(電話番号 または E-mail アドレス)を明記し、下記の FAX または E-mail のいずれかでお申し込みください。締切はイベント開催日の3日前です。



- 近鉄奈良線「河内小阪」駅下車 西へ徒歩4分(約300m)
- JRおおさか東線「JR河内永和」駅下車 東へ徒歩5分(約400m)

ご来館のみなさまへ

- ・咳や発熱等の症状のある方は来館をご遠慮ください。
- ・入口にアルコール消毒液を設置しております。必要に応じてご利用ください。
- ・駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

開館時間 9:00~16:30
休館日 日曜・祝日・大学の休業日
但し、10月29日(日)・11月23日(木・休)は開館
入館料 無料

大阪樟蔭女子大学 田辺聖子文学館

所在地 〒577-8550 東大阪市葦屋西4-2-26
大阪樟蔭女子大学 図書館内

お問い合わせ/TEL 06-7506-9334
お申し込み/FAX 06-6723-8387
E-mail bungakukan@osaka-shoin.ac.jp
URL http://bungakukan.osaka-shoin.ac.jp